



か なる す できな い ろどりあるまち

通信第⑨号

令和3年1月21日 発行：豊島区教育委員会事務局庶務課



オンラインで進めている家庭教育推進員活動も3回目と折り返し地点を迎え、少しずつオンラインでの活動に慣れてきてくださっていることと思います。第3回の活動では、グループ内でファシリテーターを決めて、グループワークのまとめ役になっていただきました。

ワークショップの作り方

第3回のテーマは「ワークショップをつくる」。
ワークショップには、①場づくり、②グループサイズ、③問い、④見える化、⑤プログラムデザインの5つの必要となるスキルがあります。

ワークショップを行う時に、齋藤先生が特に大事にしているのは、「CTPT」（右の図を参照）。「コンセプト」と「ターゲット」、まずはこの2つが決まっていなくてプロセスやツールは決まっていきません。前回のグループワークでは「好き」「やってみたい」「できる」「求めている」ことが何かをお話ししてもらいました。今回は、グループで共有しながら、やってみたい、できる、求められていることの3つが重なる部分を探り「ワークショップとしてこれができるのでは?!」をグループでまとめることがゴールとなります。

ワークショップデザイン

★	C	・コンセプト 何を目的とするか・学んでもらいたいか
★	T	・ターゲット 誰を対象にするか
	P	・プロセス どのようにワークショップを進めるか
	T	・ツール 何を使ってワークショップをするか

場づくり・グループサイズ・問い

実際に対面での「場づくり」で大切なのは、どのような空間をデザインするのかということ。ワークショップが始まる前から、どのように空間や雰囲気をデザインするのかはすでに始まっているのです。（オンラインでは机を並べたりしないため、この場づくりは異なります。）

齋藤先生としてはグループサイズは3-4名がバランスがよい！人数が多いと当事者感は減ってしまい、人数が少ないと負荷も高いが、当事者感も高い創造型となるそうです。今回のグループワークの人数の5-6名の場合、ファシリテーターがいると盛り上がるということです。

また「ワークショップで何を学んでもらうのか」を深めるには「問い」がとても重要です。前回までのお話ですと、まずは共通な話題になりそうで、具体的で、個人的な体験から話せることから始めてもらおうと盛り上がるそうです。自分に関係のないことは話しにくいですね。また、問いの答えに対して否定や批判をしないということで、安心して話せる場ができていきます。

「見える化」して良質な議論に！

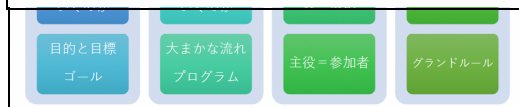
ワークショップの中で大事なことは「見える化」です。出た意見を書くことで共有でき、意見が積み重なり、その状況がわかると議論をしてよかったな〜と感じられ、満足感も高まり、良質な議論につながります。書いてもらうことで認められたという安心感がでて、さらにもっと意見を言いたくなる良い循環が生まれます。オンライン授業では、新たなツールや方法も出てきています。ぜひ活用してみてください。とくにこのGoogle Workspace for Educationでは、GoogleドキュメントやJamboard（模造紙のように使えます）など、みんなで作業でき、即時性があるって簡単に使えるツールが用意されています！

いよいよプログラムデザイン（今日の本題）

⑤ プログラムデザイン

起承転結を意識するとつくりやすい

起・・・挨拶、OARR、自己紹介、オリエンテーション
承・・・インプット（レクチャー、体験）
転・・・アウトプット（ワーク、対話）
結・・・振り返り、共有、次へのつなぎ



プログラムデザインには、「起承転結」があるとスムーズです。「転」が具体的なワークショップや体験となります。重要なのは「起」と「結」です。「OARR」もポイントです。

「承」「転」だけでは、授業を受けているようになります。「起」と「結」を明確にすると受講後の満足度は高くなります。全員でやって、全員で共有すると連帯感が生まれます。「結」では主催者側の意図を明確に伝えることが大切です。ワークショップの中で、1人一言の

発言を促すと、安心感が増しますよ。

次回までに1人1枚企画書とタイムラインを作成し、グループで1つのワークショップをつくりまします。アイデアを出し切って（拡散）絞っていく（収束）、そして動画共有しながらワークシートに書き込んでいく作業です。参考のためにできればオンラインワークショップなどを受講してみてくださいね♪

各グループ内ファシリテーターご紹介☆ふりかえり

1班...原口さん：少しずつ話が出てきて、まとまってきた。オンライン上でも一人ひとりの意見を聞いてまとまるんだと実感。

2班...今城さん：なかなかファシリテーターが決まらず、引き受けたが、皆さんのご協力で、共通して楽しいことを考案できた。アウトラインがはっきり見えて、次に繋がられるようになった。

3班...長内さん：参加者が二人で最初は心配だったが、意見を聞きあえてよかった。人数が少ないと、意見をすぐに出しあえる良さもある。今の時代にあったものを活用して、若い方にもアンケートなど取りたいという話になった。

4班...山口さん（学生ファシリテーター）：朝WIFIの調子が悪く、かすい員のファシリテーターが決めれなかった。3回目の会でざっくばらんに意見が出て楽しかった。今後ひとつに集約できればと思う。

5班...上田さん：皆さんで色々意見を出し合った。対象を親子にするか、保護者にするかを話し合っている。素敵な意見が出てきているので、まとまるとよいと思う。

6班...水田さん：やりたいことの中でできることをあげていき、方向性が見えてきた。今後の進め方がクリアになっていくので、よかったと思う。



ここからは、皆さんからいただいたアンケートを一部ご紹介します。

Q 印象に残ったことはなんですか。

- 「問い」の大切さ。参加型ワークショップのコツの根幹の気がした。
- 「問い」の仕方。相手の意見を引き出すような質問の仕方は難しいと感じた。
- ワークショップデザインについて
- CTPTを事前に決めること。話し合いを進めるうえで明確にするのが大事。
- 今一度、コンセプト、なぜそれをするのかの意味に立ち返ること。
- プログラムデザインを初めて知り、わかりやすい表に感動した。
- プログラムデザインの起承転結の話。起・結の重要性。（複数ありました！）
- ファシリテーターが素晴らしく、大変勉強になった。
- グループでの話し合いで、ファシリテーターの手助けもありましたが、話が進み、まとまったこと。
- 共通する話題を元に、班で積極的に話し合いができたこと。
- 意見をたくさん出し合えたこと。
- 自分の意見をイメージさせることが、難しかった。
- 同じ意見を聞いていても、様々な意見があるということ。
- 子供たちだけでなく、大人もコミュニケーションツールとして、同じようにオンラインに慣れていくという話し。

Q 今回学習した内容で、これから実行しようと決めたことを1つ挙げてください。

- いろいろな世代ができることを考えたい。
- 話し相手が当事者意識を持てるように心がけること。
- 子供たちにオンラインで話す練習をさせてみたい
- ワークショップの内容を掘り下げて、考えたい。（多数）
- 意見をまとめること。
- 話の進行と引き出し方を学んだので、実際につかってみたい。
- コンセプトとターゲットを明確にして活動したい。
- 周りの意見を聞きながら、全員が納得する方向に持っていくことを実践したい。
- 班の方の意見を自分なりに整理して、どのようにワークショップにつなげるか工夫したい。
- 20分でスムーズに実施できる詳細な運営計画を検討したい。
- 当事者意識を持って、積極的にワークショップに関わっていこうと思いました。
- 楽しんで参加したい。もう少し積極的になればよかった！
- 最後に全員で共有するのが大事だと思いました。

Q その他お気づきの点やご意見等がありましたらご記入ください。

- 通信状況が悪く滞りました。
▷ご不便おかけしました。スムーズな運営を心がけますが、万が一の場合、ご容赦ください。
接続の問題がありましたら、月例会当日用の携帯電話にご連絡ください。（080-3433-3342）

- 全体や班のMeetに入れない。権限がないとメッセージが出る。
 - ▷スマホで参加の場合、スマホ本体のパスワードを設定をしていないと、区のセキュリティが高く、ログインできない場合がありますので、設定をお願いします。
 - またシークレットモードのご利用もお願いします。シークレットモードの設定方法につきましては、全体のClassroom、授業、開催前配布文書、郵送文書に「（参考）シークレットモードの利用について」としてUPしていますので、ご参照ください。
 - つながらない場合、遠慮なく、前述の当日用の携帯電話にご連絡ください。

- 次回は会場受講とオンラインの受講が選択できるとのことですが、事前に参加者に確認したりご準備をお願いします。
 - ▷はい、ご相談したい方、欠席だった方には事務局から連絡をとっています。

- パソコン・イヤフォンマイクがありませんが、会場受講できますか？
 - ▷会場参加人数を把握してからになります。一定数なら貸し出せます。イヤフォンマイクは簡単なものをご自身でご用意いただくと大変助かります。

- オンライン発表会の流れを知りたいです。
 - ▷2月17日（木）の活動は、午前中準備、午後は2班ずつ発表（ワークショップの実践）をしていきます。10時～15時30分（昼休憩12時～13時）の予定です。例年はPTAの皆さんをはじめ多数の方にお声がけをしていますが、今年度も昨年に引き続いて、かすい員の中での発表とします。詳しい内容は第4回の活動でお伝えしたいと思います。